

『奈良県歯科技工士会生涯研修』

(講演抄録)

演題：『無歯顎から歯冠修復学にも役に立つ補綴のガイドライン』

副題：『人工歯排列に必要な力学・生理学・解剖学の基礎知識について』

近年、歯科医療の発展と共に歯科医療を取り巻く環境も変革期にあり、臨床総義歯学もエビデンスを求めた、より客観的な臨床術式から在宅口腔ケアの義歯製作にも客観的術式が求められています。

そこで平成28年2月7日・28(日)2回の生涯研修では、歯科医療における歯科技工の将来展望から歯科技工士の方向性と雇用体系の変化についても皆様と共に考察してみたいと考えています。

また、世界の医療先進国においてグローバルスタンダードに成ってきているBPSのガイドラインから臨床補綴システム(クラウン&ブリッジ・パーシャルデンチャー・コンプリートデンチャー・インプラントオーバーデンチャー)を考察したい。

今回のセミナーでは、概形印象から客観的な機能印象が得られる個人トレー製法について考察し、症例に応じた客観的な術式により得られた咬合採得から咬合器装着法を考察する。

そこで症例別に異なる咬合平面の設定基準となるガイドラインの重要性と、患者固有の人工歯選択から咬合様式を力学的、生理学的な観点により臨床的に考察する予定です。

歯槽軸(Axis)に調和した咬合と人工歯排列のガイドラインとなる咬合彎曲(2-D・3-Dテンプレート)を考察し、残留モノマーの少ない品質管理された最新の重合システムについても考察したいと考えています。現在、欧米の歯科大学・歯学部でも総義歯臨床学・インプラント臨床補綴学における上部構造の技工・有歯顎および無歯顎補綴のガイドラインとして採用されている新しい考え方についてご紹介する予定です。

時間の許す限りご参加戴いた皆様と共に、今回のテーマであります総義歯の臨床的ポイントについて考察し、実り有る講演会にしたいと考えています。

(公社) 日本歯科技工士会生涯研修認定講師

BPS 公認国際インストラクター

佐藤補綴研究室(オッセオインプラントラボセンター)

佐藤 幸司